

ひよこ組 2月のクラスだより



2022年 2月 10日(木)

数日前から、室内の壁に貼っておいた鬼や、風船を吊るした鬼に、新聞紙で丸めた豆を保育士が「えい」や「鬼はーそと」と言って投げるのを見ていた子ども達は、興味を示し真似て投げて遊んでいました。

節分の日も、背の高さの段ボールの側面に鬼の絵をはっておくと、新聞紙で丸めた豆を入れたり投げたり、また、鬼のパンツの踊りも所々覚えて歌って遊びました。

豆まきが終わって食事の時に、福の神さんがチューリップの花を持って来てくれ春を届けてくれました。春の予感がいっぱいの温かい豆まきでした。

立春とはいえまだ寒い日が続いていますが、子どもたちの笑顔が暖かい春へ誘ってくれるように思います。



今月の壁面

★身体の部位、頭や目、耳、鼻など分かるようになつたよ！！

子どもたちは絵本『だるまさんの』が好きで保育士とよく一緒に見ています。絵本を見るうちに身体の部位を覚えたようで、保育士が「目はどこ？」と聞くと 目を指差して応えてくれるようになりました。また、「髪の毛はどこ？」と、聞くと、自分の髪の毛をつまんで知らせてくれます。よく私たちの話すことを聞いていて応えたり、分かって行動できるようになってきていて、日々の成長を嬉しく思います。



★走るの大好き！！車も自由に自在に動かせます。

寒い時期、外に出られなくても廊下で遊べば気分爽快です。

「よーいドン」と保育士が言葉をかけると走り始め、トットコトツトコ止まりません。コーナーでは、身体を斜めに傾けて上手に曲がります。保育士も一緒に走ると、「キャハハハ」と、笑いながらにこにこ笑顔で走れるようになりました。

てんとうむしの車や三輪車等に乗ると、前後左右にスムーズに動かせるようになりました。



(今丸・尾崎・二木)

☆第11号☆



すみれぐみだより

令和4年2月10日(木)

新年が明けてあっという間に1ヶ月が経ちました。時の流れと子どもたちの成長は驚くほど早いものです。私たち保育士も子どもたちに負けないように日々成長して参りたいと思います。

さて、先日の節分の日には保育室にいろいろな表情を描いた風船の鬼とお面の鬼が登場しました。子どもたちは泣くのかなと思いきや「なんだろう?」と目をまんまるとしてキヨトンとしていました。気になって近くで見るとお面はやっぱり「こわい…」という子どももいましたが、持っていた豆(今回はボール)を投げて「鬼は外」と言いながら退治しました。泣いた顔の風船鬼を見つけるとみんなで「やったー」と喜んでいました。節分に食べると縁起がいいといわれている恵方巻も、子どもたちと製作していました。なにか縁起のいいことが皆様にも起こりますように…



ひとりでできるもん!

今月から午睡時はパジャマを着るようになりました。今までほとんど保育士が手伝って着替えをしていることが多かったですが、パジャマパワーで今では一人で頑張って着替えようとするように子どもたちの意識が少しづつ変わってきました。着替え始めると「〇〇がする!」と保育士の手伝いを断るのですが、うまくいかないことに「わーできん」「もういや」とイライラしてしまうことも…。そんな時は手伝う前に「一緒にする?」と言葉をかけるようにしています。全てを保育士がしてしまうではなく、いずれ自分でできるように衣服の着脱をしようとする姿には可能な限り時間をとり、一緒に手順を教えながら伝えています。



絵本の紹介

「おやすみなさい」

お昼寝の前にはいつも絵本を読んでいます。その中でも特に子どもたちに人気なのがこの絵本です。絵本の内容のもほとんど覚えて保育士と声を合わせて読んでくる子どももいます。最後の方に出てくる「あっ! ちょっとまって」のシーンが特にお気に入りでみんなで片手を前に出しながら「ちょっとまって!」と言うのがとてもかわいくて絵本を読むのが楽しみになっています。



今日の壁面紹介

なぐりがきやスタンプで手袋を作りました。スタンプをする時は何を使うか、色は何にするかは子どもたちが自分で選んで作りました。





ちゅうりっぷだより



令和4年2月10日(木)

寒さや乾燥が気になる日々が続いますが、子どもたちは寒さに負けずに園庭にて走り回っています。子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。冬の遊びや楽しみを見つけながら、残りの2か月ちゅうりっぷ組の子どもたちと1日1日を大切に思いっきり楽しんで過ごしたいと思います。



「おにはーそと ふくはーうち」

2月3日になる前に子どもたちは「もうすぐ鬼の日よね」「おにはーそとするんよ」「おにがきたら剣でやっつける」と待ちに待っていました。当日は鬼のお面や鬼のパンツを身に付けて鬼のパンツを踊り、豆まきの歌を歌い、みんなで新聞紙の豆で「心の鬼を退治しよう」と豆まきが始まりました。天井にぶら下がった鬼や逃げる鬼に「おにはーそと」「ふくはーうち」の掛け声が部屋中に響きわたっていました。豆まきが終わると「またしたいな~」「おやつのあともする?」ととても楽しんでいました。そして、お昼ご飯の時に、福の神様が「こんにちは春を届けにきましたと花を届けてくれました。

「入ってもいいですか?」という福の神様に固まったり、首を振ったり、

「優しいなら入っていいよ」と言ったり子どもたちの反応は様々でした。

福の神様に少し驚いた表情の子どもたちでしたが、楽しい豆まきになり春の訪れを感じました。



「いらっしゃいませ~♪」

今のちゅうりっぷ組のブームは・・・

マクドナルドっこです。メニューをみせて「なににしますか?」と注文をとったり、ポテトやハンバーガーなどを黙々と作ったり、できたものを「おまたせしました」と店員になりきり、友だちや保育士とのやり取りを楽しんでいます。ポテトは塩をかけたりマヨネーズやケチャップをかけてアレンジしていて、おいしそうなハンバーガーができあがっています。

よくおまけにおもちゃやもう一つ後からポテトをもってきてくれます。

やり取りがたくさんできるように次のお店屋さんも計画中です。

次は何屋さんが開店するかな?



~今月の絵本~「いいから いいから」

突然やってきた雷の親子。にもかかわらずに「いいから いいから」ともてなすおじいちゃん。へそをとられてもこの言葉のおおらかさ。

「いいから いいから」がくせになり子どもたちも言葉にしています。

「いいから いいから」なんていいことば。

こころがほぐれていきまへす。シリーズもあります。





令和4年2月10日(木)

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。園庭に出ると、肌に触れる冷たい風に頬や鼻を赤らめながら、元気に遊んでいる子どもたちです。

今年度も残り2ヶ月となりました。まだコロナウイルスなどの感染症に警戒しながら日々が続きそうですが、その中でも日々成長を見てくれる子どもたちの姿が頼もしく感じます。しっかりと子どもたちの健康管理、感染対策に取り組みながら、子どもたちの成長を支え過ごしていきたいと思います。



おにはーそと！

節分に向けて、鬼のお面や新聞紙で豆を作りました。完成すると、「早く豆まきしたいね」と期待を膨らませていました。節分の日は遊戯室で、たんぽぽ組の「泣いた赤鬼」の劇を見たり、鬼のパンツを踊ったりしたあと、お部屋に戻り、自分たちで作った鬼のお面を被って新聞紙の豆で豆まきをしました。壁に貼っている鬼や机の上にある鬼の的に向かって「おにはーそと！」と元気いっぱい豆を投げていました。しばらくすると、お部屋に福の神様が春を届けにやってきました。初めは驚いた様子でしたが、お花やたまごボーロをいただくと「ありがとうございます」と笑顔になっていました。

いただいたお花を花瓶に飾ると「綺麗だね」「いい匂いがする」と、しばらく眺めていて春の予感がいっぱいの温かな雰囲気に包まれました。寒い日でも、子どもたちの笑顔が暖かい春への道筋を作っているように思います。



* 今月の絵本 *

「ねこのピート～だいすきな4つのボタン～」

ねこのピートは、4つのボタンがついたシャツが大好き。『よつつのボタン、かなりさいこう！』と歌っていると、ボタンがひとつとれてしまって…。

“形あるものはいつかなくなる…そして、なくなっこことにも意味がある”というメッセージも込められたお話です。



以前プランターに植えたちゅうりっぷが、芽を出し始めました。園庭に出ると、友だち同士で「おっしゃくなってる」と生長を喜んでいる子どもたち。花が咲く日が待ち遠しい様子です。

こすもすぐみ担任：崎野、中西



2022 年 2 月 10 日 (木)

立春が過ぎ暦の上では春になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。その中でも木々は芽を少しづつ膨らませて春を迎える準備をはじめています。子どもたちは園庭に遊びに行くたびに、子どもたちが一人一つずつ植えたチューリップの成長を確かめ合っています。暖かくなり花が咲くのが楽しみです。



お腹の中の鬼はそと～

節分前に絵本「おなかのなかにおにがいる」を読みました。お菓子ばかり食べてしまうのも、ゴロゴロしてしまうのも、お腹の中にいる鬼の仕業で、豆まきをすることでお腹の中の鬼を追い出すという内容のお話です。読み終わると「僕は怒りん坊鬼がいる」「私はなかなか起きない鬼」など自分のお腹の中にいる鬼を見つけていました。鬼を追い出すため鬼のお面と豆入れを作りました。「野菜を食べない鬼やけ、緑の鬼にしよう」などお腹にいる鬼を考え作っていました。節分当日、天井から紐で吊るした鬼に向かって新聞紙で作った豆を投げ、鬼を追い出しました。自分の鬼だけでなく、「○○君の鬼はそと～」とその日休んだ友だちや兄弟のお腹の中にいる鬼も追い出していました。鬼を追い出すと福の神様がお花と福豆を持って春を届けにきてくださいました。福豆は大豆の代わりに卵ボーロでした。一年間元気に過ごせるよう願いながら頂きました。



レストラン「くるみ亭」

ブロックで食べ物と食器を作ったことから始まったレストランごっこ。今は画用紙にオムライスやアイス、コーラなど食べ物の名前を書き、メニュー表作りをしています。字が分からないと 50 音表を見たり、保育士に聞いたりしながら書いています。少しずつひらがなを覚えて来ていて、保育士に聞くことが減ってきたように感じます。子どもたちと一緒に必要な物を考え、レストランの開店が出来るよう準備していくと計画しています。

「早く会いたいな」

朝のお集まりでその日お休みのお友だちを伝えると「○○君に会いたいな」と話しています。また、「保育園に来たら一緒にブロックで遊びたい」「私は外で鬼ごっこしたい」などみんなで遊ぶのを楽しみにしています。

今回も新型コロナウイル感染予防のため家庭保育のご協力ありがとうございます。みんなで元気に遊べる日を楽しみに、引き続き感染予防を行っていきたいと思います。

☆第11号☆



発行：令和4年2月10日（木）

北九州市でもコロナウイルスの感染増加が懸念され、連日のコロナウイルス関連のニュースには気が滅入りそうですが、子どもたちは残り2ヶ月となった園生活を、友だちとの関わりを深めながら卒園や就学に期待を膨らませて過ごしています。

まだまだ寒さは続いているが、立春を迎え、子どもたちも少しずつ温かくなってきた陽差しの変化に気づき「おひさまが当たるとぽかぽかする」「もう春がここまで来てるね！」と少しずつ訪れる春を感じているようです。そんな子どもたちの心や身体の育ちを支えながら、力を蓄えた小さなつぼみが卒園に向けて、豊かな花を咲かせています。

昼食後の窓際はたんぽぽ組の
ひなたぼっこスポットです！



★もうすぐ小学生★

今年に入り、一段と就学に向けて期待や夢がふらんでいるたんぽぽ組。遊びの中にも“学校ごっこ”や“先生ごっこ”と小学校への期待が溢れています。園生活やクラスの活動の中でも、就学に向けて時計（時間）を意識して生活したり、当番活動や簡単な“宿題”などを経験することで、戸惑うことなく就学へと進めるよう支えています。つい先日、『寝た時間と起きた時間を書いてみよう』と時計の描いたプリントを渡し、子どもたちに“宿題”を出してみました。初めての“宿題”に「宿題ってお家でてくるんよね？」「小学校に行ったら毎日あるんよ！」と憧れの小学生にまた1歩近づけたことに、嬉しそうな表情を浮かべ、大事そうにプリントを鞄に入れていきました。翌日、登園してくると「宿題もってきたよ！」「自分でちゃんと書いてきた！」と誇らしげな表情でプリントを見せに来てくれた子どもたち。初めての経験に、忘れてしまっていた子どももいましたが、誰にでも失敗や忘れてしまうことがあります。“忘れてしまったからどうしたらいいかな？”と自分なりに考え、子どもたちは「次は忘れない！」「今日こそ家に帰ってしないと！」と失敗を次への意欲に繋げ、気合い十分です。これから少しずつ、就学に向けてさまざまな活動をする中で、子どもたちが小学校へたくさんの期待をもち、安心して入学できるように支えていきたいと思っています。“宿題”を子どもたちが持ち帰ったときは、ご協力をお願い致します。

卒園式について

3月19日（土）に卒園式を予定しています。例年、卒園式について保護者の方にお集まりいただきでお話しをする場を設けていましたが、コロナウイルス感染拡大により、集まることが難しいので、2月15日からお忙しい時間とは思いますが、送迎時に口頭でお話しをさせていただけたらと思っていますので、ご協力宜しくお願ひ致します。